

ヨコミネ式とは・・・？

「読み・書き・計算」の自学自習を基本とし、子どものやる気を引きだし基礎学力を高め子どもの持つ素晴らしい才能を開花させます。また「心の力・学ぶ力・体の力」をつけさせ、子どもたちが生まれ持っている「可能性」を最大限に引き出すための教育です。

子どもをやる気にさせる「4つのスイッチ」

1) 子どもは競争したがる

子ども同士で刺激を与え合うことが、やる気を保つための原動力となります。「負けたくない」「もっとできるようになりたい」そんな子どもの自然な競争心を大切にします。

2) 子どもは真似をしたがる

お手本となる子どもの様子を観察することで「自分にもできるかもしれない」「やってみよう」という向上心を育みます。

3) 子どもはちょっとだけ難しいことをしたがる

子どもたちはできるようになった「簡単なこと」には飽きてしまいがちなもの。しかし逆に「難しすぎること」を強要されるようでは、やる気を失ってしまいます。一人ひとりの子どものペースに合わせて少しだけ難しい課題を与えることで、子どもの育ちをサポートしていきます。

4) 子どもは認められたがる

褒められれば誰でも嬉しい気持ちになるものです。ヨコミネ式教育法では、子どもの「できること」「成功体験」を積み重ねていくことで、子どもの達成感や自信を生み出し、自然と意欲が高まるように工夫しています。

～ヨコミネ式内容～

○よみ	年少・年中・年長のそれぞれの発達進度に照らし合わせて行います。一人ひとりの「ひらがな」「カタカナ」の読みの可否を確認しながら、その子個人に合った取り組みを毎日少しずつ行います。
○かき	まずは鉛筆を持つてみるころからスタートします。その後「カタカナ」→「ひらがな」の順に一文字ずつ練習します。＊専用の教材あり。
○けいさん	まずは数の概念(数字が読めて、数と一致して書く)の認識度を確認し、数量を把握するところからスタートします。＊専用の教材あり。
○たいそう	体力・反射神経・バランス感覚などの運動能力は6歳までにその9割が固定されると言われています。登園後、天候や体力を考慮しながら運動能力の成長を促すための基礎となる「かけっこ」を毎日行います。かけっこによって準備運動した後はブリッジ・側転・跳び箱・逆立ち歩き等、怪我のしにくい強い体づくりをします。
○おんがく	ハンドサインや音あての導入から入り、ピアノを毎日弾くことでたくさんの音楽を自分で表現できるようになります。歌の指導では、日本の童謡や季節の歌などの合唱も楽しめます。